

小樽商科大学 卒業論文 (昭和57年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和57	6089	バーナード組織論と官僚制論 -ヴェーバーの官僚制について-	
昭和57	6090	バーナード組織論と官僚制論 -三戸公官僚制論批判-	
昭和57	6091	バーナード組織論と官僚制論 -官僚制論の動向-	
昭和57	6092	バーナード組織論と官僚制論 -官僚制と疎外-	
昭和57	6093	戸別訪問の禁止と憲法二十一条	
昭和57		「6094~6096」は修士論文	
昭和57	6097	日本貿易の構造と展望	
昭和57	6098	(文献紹介)N.フッド、S.ヤング共著「多国籍企業の経済学」	
昭和57	6099	(翻訳) A.I.マクビーン、V.N.バラスブラマンヤン共著「第三世界の挑戦」	
昭和57	6100	新国際経済秩序の諸問題	
昭和57	6101	(翻訳)M.コーデン「貿易政策と経済厚生」	
昭和57	6102	国際収支の調整理論	
昭和57	6103	国内均衡と国際均衡	
昭和57	6104	(文献紹介) N.フッド、S.ヤング共著『多国籍企業の経済学』	
昭和57	6105	国際間の技術移転における諸問題	
昭和57	6106	(文献紹介)保護と経済成長	
昭和57	6107	小島国際経済理論体系の展開	
昭和57	6108	(文献紹介) R.F.ハロッド『英国経済』	
昭和57	6109	N.フッド、S.ヤング共著「多国籍企業の経済学」	
昭和57	6110	輸出契約	
昭和57	6111	外国為替相場の理論と操作	
昭和57	6112	国際金融におけるオイル・マネー	
昭和57	6113	外国為替操作	
昭和57	6114	中央銀行の為替市場介入	
昭和57	6115	荷為替信用状の機能	
昭和57	6116	信用状による貿易取引実務	
昭和57	6117	オイル・マネーの還流と対日投資	
昭和57	6118	荷為替信用状論	
昭和57	6119	オイル・マネーと国際金融	
昭和57	6120	先物予約の理論と実務	
昭和57	6121	石油問題と国際金融	
昭和57	6122	輸入金融	
昭和57	6123	貿易実務とその契約の基本条件	
昭和57	6124	荷為替信用状の理論と実務	
昭和57	6125	近代社会におけるホップズ「リヴァイアサン」	
昭和57	6126	イギリス・フェミニズムの背景とその展開	
昭和57	6127	イギリスにおける近代株式会社の成立	
昭和57	6128	イギリス支配下の植民地インド	
昭和57	6129	イギリスの資本輸出と商品輸出 -1870年代以降における新たな結合型態の展開-	
昭和57	6130	フランス絶対王制批判としての「人間不平等起源論」	
昭和57	6131	産業革命と都市生活	
昭和57	6132	チャーティスト運動に関する一考察	
昭和57	6133	ロック「市民政府論」における市民社会理論の形成	
昭和57	6134	19世紀後半のイギリス工業の停滞	
昭和57	6135	重商主義研究序説 -ステュアート蓄積論-	
昭和57	6136	イギリスにおけるマーチャント・バンカーの歴史と現況	
昭和57	6137	「経済学批判要綱」における歴史認識	
昭和57	6138	経済成長理論の研究	
昭和57	6139	ケインズ「一般理論」の再考察	
昭和57	6140	日本の経済発展に関する考察	
昭和57	6141	経済成長理論	
昭和57	6142	赤字財政 -その構造と負担-	
昭和57	6143	国債発行とクラウディング・アウト発生の可能性について	
昭和57	6144	サプライ・サイド・エコノミクス	
昭和57	6145	技術革新と労働需要	

小樽商科大学 卒業論文（昭和57年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和57	6146	太平洋戦争下の人的資源	
昭和57	6147	新しい消費者理論 -ランカスターの特性アプローチ-	
昭和57	6148	人をあらわすことばについて	
昭和57	6149	「貨幣」とは何か	
昭和57	6150	古典的競争均衡存在定理	
昭和57	6151	日本農業の現状と将来	
昭和57	6152	レーガン軍事政策の経済的側面	
昭和57	6153	Wilcoxon検定を中心とした順位検定	
昭和57	6154	消費の一般均衡理論	
昭和57	6155	消費者行動の理論	
昭和57	6156	時間領域における時系列分析の理論的考察	
昭和57	6157	石油ショック前後の日本経済と計量モデルの作成	
昭和57	6158	投資の計量経済分析	
昭和57	6159	一般不均衡理論 -不完全雇用均衡の存在についてのミクロ理論的基礎づけ-	
昭和57	6160	エネルギーと未来	
昭和57	6161	1980年代の日本経済展望	
昭和57	6162	インド経済発展の可能性	
昭和57	6163	近代のアメリカに於けるインフレーション	
昭和57	6164	アジアの人口問題と人口政策	
昭和57	6165	技術革新と労働者	
昭和57	6166	日本の輸出が世界経済に与えた影響	
昭和57	6167	生産力増大に伴う今日的課題	
昭和57	6168	20世紀初頭から現在までのイギリスにおける社会福祉の展開	
昭和57	6169	高齢化社会に対応するにあたっての基礎的考察	
昭和57	6170	M.フリードマンによる「負の所得税制」-考察	
昭和57	6171	供給側からの石油ショックの分析	
昭和57	6172	日本酪農生産 -保護から自立への道を求めて-	
昭和57	6173	恐慌からのアメリカの復活	
昭和57	6174	インフレと失業 -A.M.Okunによる経済分析-	
昭和57	6175	日本におけるマネーサプライ管理	
昭和57	6176	動学的調整モデルの論証	
昭和57	6177	オーカンの法則の適用による日本経済の検討	
昭和57	6178	単回帰分析および重回帰分析における需要分析	
昭和57	6179	ロジスティック曲線モデルへの回帰分析 -計算用プログラムと実証分析-	
昭和57	6180	有効フロンティアの標準化について	
昭和57	6181	工業生産物の価格と質 -ある実証的調査のいくつかの結果-	
昭和57	6182	回帰モデル分析における問題	
昭和57	6183	幕府の第一次蝦夷地直轄と箱館	
昭和57	6184	ユーカラの成立について	
昭和57	6185	北海道開拓と囚人労働	
昭和57	6186	開拓使長官黒田清隆、その思想と行動	
昭和57	6187	第二次世界大戦後の日本政治史 -1945年～1960年-	
昭和57	6188	近江商人の特性とその変遷 -近江商人は落魄したか-	
昭和57	6189	小樽港湾労働史 -昭和初期の労働事情-	
昭和57	6190	豊臣政権の財政	
昭和57	6191	幕藩営軍事工業について -その内部矛盾と技術の体系化-	
昭和57	6192	政党政治の成立と崩壊	
昭和57	6193	第一次大戦後の日本経済の状況と高橋是清の政策	
昭和57	6194	攘夷論者としての洪沢栄一	
昭和57	6195	明治・大正期の三菱財閥の形成	
昭和57	6196	薩摩藩における天保・安政改革及び両者の比較	
昭和57	6197	小樽経済史序説	
昭和57	6198	世界経済における資源、エネルギー問題	
昭和57	6199	東南アジア経済の発展と対日貿易について	
昭和57	6200	日米貿易摩擦に関する考察 -我が国の輸入面における問題点-	

小樽商科大学 卒業論文（昭和57年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和57	6201	日欧貿易摩擦問題	
昭和57	6202	多国籍企業 -その性格と発展途上国の成長-	
昭和57	6203	農産物の自由化問題	
昭和57	6204	変動相場制の現実からの評価	
昭和57	6205	アメリカ経済	
昭和57	6206	トルコ共和国の経済	
昭和57	6207	円相場と国民生活	
昭和57	6208	ファイナンス・リースの会計的側面	
昭和57	6209	取得原価主義会計の検討	
昭和57	6210	期間損益計算思考の生成・発展・確立 -山下理論の批判的一解釈-	
昭和57	6211	財務諸表分析	
昭和57	6212	会計ディスクロージャーとその拡張	
昭和57	6213	情報会計論	
昭和57	6214	余剰金論 -資本と利益の区別に関して-	
昭和57	6215	企業会計への付加価値概念の導入 -社会会計と企業会計の連係に向けて-	
昭和57	6216	転機を向かえる化粧品業界	
昭和57	6217	プライベート・ブランド新時代	
昭和57	6218	多国籍企業について -トヨタの海外戦略-	
昭和57	6219	効果的なTVCMの在り方	
昭和57	6220	海外直接投資の進展	
昭和57	6221	化粧品の功罪 -夢を売るイメージ商法の思いのままにならぬように	
昭和57	6222	80年代に売る	
昭和57	6223	大型店問題と中小小売商近代化	
昭和57	6224	大型店出店規制と今後のスーパーの戦略	
昭和57	6225	百貨店四社の戦略分析を通じた今後の百貨店の行方	
昭和57	6226	ビックストア5社の経営戦略と業界再編	
昭和57	6227	自動車の商品性	
昭和57	6228	北海道の経済 -産業経済自立の道-	
昭和57	6229	広告の生成と現状 -現代広告の本質と問題の探究	
昭和57	6230	バーナード組織論と歴史 -方法論の考察-	
昭和57	6231	バーナード組織論と歴史 -バーナード組織論の歴史的考察-	
昭和57	6232	バーナード組織論と歴史 -主著経営者の役割にみる全体主義と個人主義の統合に根ざした組織論の分析-	
昭和57	6233	バーナード組織論における官僚制	
昭和57	6234	超国家的となるためのIMF条件制の発展	
昭和57	6235	消費者中心健康保険対職業中心健康保険	
昭和57	6236	国際経済における貨幣	
昭和57	6237	国際経済体制の維持 -合衆国の政策について-	
昭和57	6238	金融目標とインフレコントロール	
昭和57	6239	国際金融市場における通貨リスク	
昭和57	6240	株式市場とインフレーション	
昭和57	6241	変動為替相場制下の貿易関係	
昭和57	6242	経済学における均衡概念の意義	
昭和57	6243	ケインズと古典派	
昭和57	6244	マーケティングシミュレーションモデル -小沼・瀬戸川モデル-	
昭和57	6245	チャネルの調整に影響を与える要因	
昭和57	6246	ダイナミックな環境における価格決定モデル	
昭和57	6247	小売企業組織におけるマーケティング決定サポート・システム	
昭和57	6248	今、無店舗販売の時代 -新・旧・米・日の通販を考える-	
昭和57	6249	組織購買行動論	
昭和57	6250	企業における意思決定の考察 -戦略的意思決定について-	
昭和57	6251	セールスマンの職務満足および職務成果に与える組織風土の影響	
昭和57	6252	セールスマンの業績決定理論	
昭和57	6253	マーケティングにおける方法論認識 -抽象性および科学性の分析-	
昭和57	6254	企業イメージ調査分析	
昭和57	6255	作業性格と職業興味に関する研究	

小樽商科大学 卒業論文 (昭和57年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和57	6256	女性アルコール依存症	
昭和57	6257	アルコール依存症からの回復とAA及びMAC	
昭和57	6258	日本人の国民性と経済発展	
昭和57	6259	森田療法	
昭和57	6260	アルコール依存者としての葛西善蔵の分析	
昭和57	6261	飲酒に関する意識調査の分析	
昭和57	6262	アイルランドにおける禁酒運動の歴史的考察	
昭和57	6263	CPIに関する考察	
昭和57	6264- 6266	日本の製造企業のマーケティング・チャネルの変遷 -明治以降主要5産業を対象として-	3分冊
昭和57	6267	外部報告のための直接原価計算	
昭和57	6268	外部報告のための直接原価計算論争	
昭和57	6269	直接原価計算における期間損益計算	
昭和57	6270	内部報告のための原価計算システム	
昭和57	6271	直接原価計算と利益計画	
昭和57	6272	直接原価計算の外部報告機能	
昭和57	6273	固定費期間原価論に関する検討 -固定費変動費分解を中心に-	
昭和57	6274	コスト・ビヘイビアの重回帰分析	
昭和57	6275	直接原価計算論	
昭和57	6276	企業内訓練について -学習心理学を基礎にして-	
昭和57	6277	女性管理者	
昭和57	6278	組織開発におけるフィードバックと目標設定	
昭和57	6279	ストレス	
昭和57	6280	リーダーシップと職務充実ににおける新しい理論	
昭和57	6281	選抜インタビュー研究の考察と新しい選抜インタビュー手続き	
昭和57	6282	人間の生活領域における現代レジャーの概念の適正化	
昭和57	6283	米国高金利と資本移動	
昭和57	6284	わが国の先進国への直接投資 -投資をめぐる環境の変化と今後の動向-	
昭和57	6285	オイルマネーの日本証券に与える影響 -巨大なオイルマネーの流入を許すべきか-	
昭和57	6286	北海道経済の現状、工業化の必要性、及びその課題について	
昭和57	6287	予算編成の二つの方法 -全部原価計算と直接原価計算-	
昭和57	6288	製造間接費に関する一考察 -キャパシティ・コストを中心にして-	
昭和57	6289	コスト・マネジメントの総合的システム	
昭和57	6290	原価計算と価格政策 -シュマーレンバッハの理論を中心にして-	
昭和57	6291	管理会計とディスクロージャー	
昭和57	6292	原価計算基準の研究	
昭和57	6293	設備投資の経済計算における一考察	
昭和57	6294	利益計画における利益図表の役割	
昭和57	6295	人的資源会計と伝統的会計	
昭和57	6296	科学的管理法と標準原価計算の形成	
昭和57	6297	ECと南北問題	
昭和57	6298	経済制裁	
昭和57	6299	海外投資の保証	
昭和57	6300	国際責任論の新展開	
昭和57	6301	抵当権と異議を留めない承諾の効力	
昭和57	6302	法定相殺および相殺予約の対外的効力	
昭和57	6303	権利能力なき社団についての一考察	
昭和57	6304	利息制限法に関する問題の一考察	
昭和57	6305	死亡における損害賠償請求権の相続についての考察	
昭和57	6306	債権者代位権の現在における意義	
昭和57	6307	無償通行権の特定承継 -民法213条の適用をめぐる-	
昭和57	6308	建物建築請負における所有権の帰属	
昭和57	6309	面接交渉権について	
昭和57	6310	連帯債務者間の求償権の制限	
昭和57	6311	議決権行使の代理人資格の制限	
昭和57	6312	株券発行前の株式譲渡の会社に対する効力	

小樽商科大学 卒業論文 (昭和57年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和57	6313	改正商法下における取締役の競業取引規制について	
昭和57	6314	取締役の監視義務懈怠による対第三者責任	
昭和57	6315	商法265条と手形行為について	
昭和57	6316	法人格否認の法理	
昭和57	6317	商法245条1項1号にいう「営業ノ全部又ハ重要ナル一部ノ譲渡」の意義	
昭和57	6318	株券の除権判決について	
昭和57	6319	役員報酬	
昭和57	6320	日本の原子力	
昭和57	6321	音楽と著作権	
昭和57	6322	日照問題の背景と日照権の法的構成	
昭和57	6323	官公労働者の争議権	
昭和57	6324	目的実現型争議行為の正当性	
昭和57	6325	ビラ貼付と施設管理権	
昭和57	6326	独占禁止法における刑罰規定	
昭和57	6327	共犯論 -正犯と共犯の区別-	
昭和57	6328	名誉毀損罪における表現の自由と名誉の保護	
昭和57	6329	正当防衛権の制限について	
昭和57	6330	医療と刑法	
昭和57	6331	横領と背任について	
昭和57	6332	過失犯の考察	
昭和57	6333	犯罪被害者補償制度 -被害者学における被害者及び犯罪被害者制度の歴史・実態・問題点-	
昭和57	6334	国際社会における国家機能を生物機能から類推したときの特徴について	
昭和57	6335	原子力の平和利用	
昭和57	6336	南北朝鮮間交渉の展開 -民族統一への模索:対話と対決の戦後史	
昭和57	6337	アメリカの食糧戦略と世界の食糧問題	
昭和57	6338	日米関係	
昭和57	6339	第二次世界大戦後の国際紛争の「解決」と「終結」についての一考察 -バリンジャー・モデル・タイロロジーを用いて-	
昭和57	6340	70年代の中東 -パレスチナ解放運動を追って-	
昭和57	6341	ラテンアメリカにおける資本主義の史的展開とFSLNの道程	
昭和57	6342	アフガニスタン問題	
昭和57	6343	核時代における軍縮	
昭和57	6344	ポーランド革命	
昭和57	6345	現代文明とインド思想	
昭和57	6346	官公労働者の争議権について	
昭和57	6347	国家と宗教	
昭和57	6348	社会保障と「生存権」	
昭和57	6349	国家権力とプライバシー -その憲法論的考察-	
昭和57	6350	統治行為論	
昭和57	6351	「教育の自由」に関する考察 -家永教科書裁判を中心に-	
昭和57	6352	憲法改正の限界	
昭和57	6353	条例による財産権規制をめぐる諸問題 -財産権法定主義と条例制定権-	
昭和57	6354	独占禁止法とフランチャイズシステム	
昭和57	6355	課徴金制度について	
昭和57	6356	独占禁止法違反と損害賠償	
昭和57	6357	独禁法における企業集団規制	
昭和57	6358	独占禁止法における域外的管轄権	
昭和57	6359	独占禁止法における不況カルテルの研究	
昭和57	6360	公益事業と独占禁止法	
昭和57	6361	特許法における権利行使に対する独占禁止法の判断基準	
昭和57	6362	市場構造規制の変遷	
昭和57	6363	MINI-LISPにおけるPORTABLE PROLOGの変更 -PROG機能を使わずに定義-	
昭和57	6364	MINI-LISP SYSTEM の改良 PROLOGの改良	
昭和57	6365	経営者は何を知るべきか	
昭和57	6366	在庫管理	

小樽商科大学 卒業論文（昭和57年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和57	6367	ゲーム理論を用いての情報の価値に関する考察	
昭和57	6368	商店における経営状況とその分析	
昭和57	6369	趣味のOR	
昭和57	6370	ゲームの理論	
昭和57	6371	日本の品質管理	
昭和57	6372	ORにおける人員配置問題	
昭和57	6373	PERT.CPM概説	
昭和57	6374	意志決定支援システムの基礎理論 -その条件適応手段としての応用-	
昭和57	6375	企業におけるパーソナルコンピュータの役割 -経営管理システムの作成を通じてのその効用と限界-	
昭和57	6376	組織活性化手段としてのOA	
昭和57	6377	ゲーミング・シミュレーションによる都市計画の方法改善	
昭和57	6378	卒業判定会議資料作成システムの開発	
昭和57	6379	利用者サイドからとらえるデータベース -効率的理解・実際現場・有望研究-	
昭和57	6380	NEC製 PC-8001のROM内ルーチンの解析	
昭和57	6381	Prolog Database System の製作	
昭和57	6382	質問応答システムの考察と作成 -小樽観光データ・ベース・システムの作成-	
昭和57	6383	PROLOGプログラミング技術	
昭和57	6384	PARM-PC検索システムとPDS検索システムの作成	
昭和57	6385	Fortranプログラミングツール -Fordapの移植とStarプリコンパイラの作成-	
昭和57	6386	マイコン(PC-8001)によるDYNAMOコンパイラ	
昭和57	6387	産業連関分析とそのモデル解析 -省エネルギー下の産業構造-	
昭和57	6388	マイコンによるGMDH	
昭和57	6389	LSMシステムとそのプログラミング	
昭和57	6390	最適化手法のソフトウェア化とその比較	
昭和57	6391	BASICによる線形計画問題の解法	
昭和57	6392	失業とインフレーション	
昭和57	6393	コンピュータ史 -フォン・ノイマンに至るまで-	
昭和57	6394	繊維問屋における経営革命	
昭和57	6395	金融革命にみるコンピュータ・パワー	
昭和57	6396	勝負哲学の研究 -こころ一番に強くなるために-	
昭和57	6397	金本位制度	
昭和57	6398	女の自立について	
昭和57	6399	日本の貿易とその現状	
昭和57	6400	韓国経済の高度成長と世界資本主義体制内における構造	
昭和57	6401	日本農業の将来	
昭和57	6402	ドラマーにおけるバンド経営学	
昭和57	6403	担保制度の分化と信用制度	
昭和57	6404	コンピュータ犯罪	